

## 令和6年度 学校経営計画書

学校番号	23	学校名	静岡県立吉原高等学校	校長名	藤村 寿一
------	----	-----	------------	-----	-------

### 1 スクール・ミッション

<p>富士市内で開校が最も古く、普通科と国際科が設置されている伝統校として、校訓「正しく(Right)、強く(Strong)、明るく(Bright)」を具現化するための方策(RSB Strategy)とグローバルな視野で地域の課題解決に取り組む探究学習を通して、吉高 Spirit*1 を持って未来を切り拓く5つの力*2 を身につけた人材の育成を目指す。</p> <p>*1 吉高 Spirit 「自分を信じる心」「相手を認める心」「社会の役に立とうとする心」</p> <p>*2 5つの力 ①自己肯定力 ②分析・思考力 ③想像・創造力 ④共生力 ⑤表現・実行力</p>
---

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

『生徒が主体的に伸びていく学校、生徒一人ひとりを伸ばす学校』

(自分で考え判断し取り組む、自分の行動に責任を持つ、失敗を恐れずチャレンジする生徒)

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>(本校で卒業までにこのような人に育てます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の目標達成に向けて主体的に取り組み、未来を切り拓こうとする人</li> <li>○社会を支える一員として主体的に地域に貢献しようとする人</li> <li>○多様な文化や価値観を尊重できる人</li> </ul>	<p>(本校ではこのような教育を実施します)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的かつ協働的に学ぶ探究的な「授業」</li> <li>○地域と連携し主体的かつ協働的に地域の課題解決を探る「吉高ゼミ」</li> <li>○異文化理解を深める国際交流や主体的な取組で生徒が成長する「学校行事・生徒会活動・部活動」</li> </ul>	<p>(本校ではこのような生徒を求めています)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の可能性を広げたい生徒</li> <li>○自己実現を目指す生徒</li> <li>○多様な文化や国際交流に関心のある生徒</li> </ul>

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

##### ア【育てたい生徒像】

生徒が主体的に取り組む機会を授業や学校行事等で用意し、自信と責任を持たせ、一人ひとりを伸ばす。

##### イ【健康・安全】

心身ともに健康で安全・安心に取り組むことができる教育環境を整える。

##### ウ【授業】

生徒の学習意欲を喚起し、その潜在的な能力を引き出す探究的な授業を行い、確かな学力を育成する。

##### エ【進路指導】

生徒が高い志を持ち、自己実現に向けた主体的な取組を支援するキャリア教育を推進する。

##### オ【国際理解】

国際交流等を通じて国際理解教育を推進し、互いを尊重しグローバルな視野を持った生徒を育成する。

##### カ【地域連携、信頼される学校づくり】

地域との連携をさらに深めるとともに、保護者・地域の期待に応える魅力ある学校づくりを推進する。

##### キ【教職員】

「チーム吉高」として教職員が協働的な教育活動・事務室経営を行うとともに、ワーク・ライフバランスの向上に努める。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生徒が主体的に取り組む機会を授業や学校行事等で用意し、自信と責任を持たせ、一人ひとりを伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が学習の見通しを立てられるシラバスの作成と活用</li> <li>・組織的に生徒の成長を促す年間行事計画の作成</li> <li>・生徒主体で企画する文化祭等の学校行事を実施し、生徒のアイデアや取り組む姿を認める。</li> <li>・専門委員会の活性化（活動内容を考えさせて実行させる。）</li> <li>・学年集会、LHR、学校行事などで、ルールの大切さについて考えさせ、自主的に守れるよう導く。</li> <li>・吉高生の中核として、将来を見据え、自主的な活動の場を用意する。</li> <li>・生徒の状況を把握し適切な指導を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「計画的な単元指導を行った」と答える教員の割合90%以上</li> <li>・「学校行事に満足している」と答える生徒・保護者の割合80%以上</li> <li>・同上</li> <li>・「生徒会活動などが活発に行われている」と答える生徒の割合70%以上</li> <li>・「ルールの大切さを理解し自ら実行できた」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・「学校行事に満足している」「生徒会活動などが活発に行われている」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・「先生はよく褒め、認め、励ましてくれる」と答える生徒の割合85%以上</li> </ul>	<p>教務</p> <p>生徒</p> <p>1年</p> <p>2年</p> <p>3年</p>
イ	心身ともに健康で安全・安心に取り組むことができる教育環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から観察、傾聴、声掛け、受容、共感の姿勢で生徒一人ひとりと接する。</li> <li>・学校医、学校薬剤師と連携した疾病異常対応</li> <li>・健康診断事後措置の徹底や清掃活動など保健衛生教育の充実</li> <li>・教育相談体制の充実</li> <li>・毎学期1回以上、学校施設・設備の異常の有無について点検する。</li> <li>・連続して欠席遅刻早退した生徒保護者の家庭に連絡する。</li> <li>・時間を守り生活リズムを整えることの大切さを周知徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分は価値ある人間であると思う」「自分の思い、考えを言語化できる」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・生徒に関する担任等との情報交換会年3回以上</li> <li>・「保健講座をよく理解できた」と答える生徒の割合80%以上、生徒の清掃参加率100%</li> <li>・前年度と比較して長期欠席生徒数減少、「教育相談だより」を学期に1回発行する。</li> <li>・施設・設備不良における事故0（ゼロ）</li> <li>・各学期末「連続した欠遅早生徒への対応が十分できた」と答える教員の割合80%以上</li> <li>・前年度と比較して遅刻総数減少</li> </ul>	<p>生徒</p> <p>生徒（保健）</p> <p>管理職 総務</p> <p>1年</p> <p>2年</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員、生徒共に「挨拶」を大切にすることを醸成する。</li> <li>・生徒が安心してアウトプットできる雰囲気づくりと発表する場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分は日頃挨拶ができていいる」と答える生徒の割合 80%以上</li> <li>・「自分の思いや考えを言語化できる」と答える生徒の割合 80%以上</li> </ul>	<p>2、3年</p> <p>3年</p>
ウ	<p>生徒の学習意欲を喚起し、その潜在的な能力を引き出す探究的な授業を行い、確かな学力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間調査を年3回実施し、生徒の取組状況を把握して指導法の改善に生かす。</li> <li>・校内 ICT 研修の実施</li> <li>・研修内容を精査して効果的な校内研修計画を策定し、教員に授業改善等の時間的ゆとりを与える。</li> <li>・研修や職員室での情報交換による生徒理解を通じて、授業改善に繋げ、質の高い内容を提供する。</li> <li>・生徒の学習意欲の向上につなげる外部検定試験等の積極的な活用</li> <li>・授業担当、HR 担当が授業開始3分前着席を徹底させる。</li> <li>・自主的な学習習慣の確立</li> <li>・生徒の主体性を育てるために LHR を活用する。</li> <li>・LHR と総合的な探究の時間を活用した進路学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の家庭学習時間の1日平均が、1、2年生 2時間以上 3年生 2.5時間以上</li> <li>・「ICT 機器を活用し授業を展開できる」と答える教員の割合 90%以上</li> <li>・「校内研修が授業改善に役立った」と答える教員の割合 70%以上</li> <li>・「探究的な授業や学習評価に関する授業を実践できた」と答える教員の割合 80%以上</li> <li>・英語検定等の外部検定で CEFR B-1 以上取得率 20%以上</li> <li>・「3分前着席が実行できた」と答える生徒の割合 80%以上</li> <li>・「自分は授業の内容をわかっている」と答える生徒の割合 80%以上</li> <li>・LHR で学年全体の取組を学期に1回実施する。</li> <li>・「総合的な探究の時間が進路選択に役立った」と答える生徒の割合（2年 80%以上、3年 90%以上）</li> </ul>	<p>教務</p> <p>教務（研修）</p> <p>国際</p> <p>1年</p> <p>2年</p> <p>2、3年</p>
エ	<p>生徒が高い志を持ち、自己実現に向けた主体的な取組を支援するキャリア教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設定科目「ボランティア実践」の実施</li> <li>・「吉高ゼミ」を通して、プレゼン発表やポスターセッションにて考えを言語化し表現する能力を養うなど、各自の課題に応じた学びの時間とする。</li> <li>・進路意識涵養のための学習プログラム（講演会、模試、補講など）を充実させ、自らを見つめ、仲間と学び合う機会を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者に事前指導を2回実施して意識を高め、単位修得率 100%</li> <li>・「吉高ゼミ」が進路選択に役立った」と答える生徒の割合 70%以上</li> <li>・「上級学校選択のみならず、生き方や社会との関わりを長期的な視野で主体的に考えるようになった」と答える生徒の割合 90%以上</li> </ul>	<p>教務</p> <p>教務（研修）</p> <p>進路</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後や長期休業において、「進路学習室」「放課後自学自習」で、主体的に学習できる環境を提供する。</li> <li>・進路選択について分野別学習をしつつ、LHRや「吉高ゼミ」の時間で理解し、納得して選択できるようにする。</li> <li>・進路実現に向けて令和7年度の情報収集を進める。</li> <li>・外部講師との交流を行い、生徒のキャリアアップを進める。</li> <li>・学年に応じた進路シラバスの活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路を開拓するのに進路学習室が役に立った」と答える生徒の割合90%以上</li> <li>・「吉高ゼミ」が進路選択に役立った」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・「共通テストの情報を理解した」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・「主権者教育、キャリア教育に対する意識が向上した」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・「進路指導に関して学校と家庭が連携できている」と答える生徒、保護者の割合80%以上</li> </ul>	<p>1年</p> <p>2年</p> <p>3年</p>
オ	国際交流等を通じて国際理解教育を推進し、互いを尊重しグローバルな視野を持った生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾等外国の高校との交流及び生徒、留学生の積極的な受け入れ</li> <li>・国際科における語学研修、異文化体験の実施(2年海外異文化体験、1年イングリッシュセミナー等)</li> <li>・国際科を中心とした国際交流を推進し、集会や授業などでその取組を発表、還元する。普通科は国際科の取組を通じて国際理解、グローバルな視野を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国の学校との交流が異文化理解の興味につながった」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・「研修が表現力向上に役立った」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・「国際理解の意義を理解し意識が向上した」と答える生徒の割合80%以上、</li> <li>・「海外異文化体験、修学旅行を通じて視野を広げた」と答える生徒の割合80%以上(2年生)</li> </ul>	<p>国際</p> <p>全学年</p>
カ	地域との連携をさらに深めるとともに、保護者・地域の期待に応える魅力ある学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への情報発信(保護者、中学生等も含む)</li> <li>・多様な進路に対応する集団・個別指導を活性化し、進路関係の情報や取組の発信を積極的に行う。</li> <li>・地域防災訓練への積極的な参加呼び掛けと防災意識の高揚</li> <li>・地区防災教育推進連絡会議の開催</li> <li>・月2回以上、学年についてロコクリや公式Xで情報を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、X更新350回以上</li> <li>・「進路指導に関して、学校と保護者の連携は適切である」と答える保護者の割合80%以上</li> <li>・「地域防災訓練に参加した」と答える生徒の割合80%以上</li> <li>・年1回開催する。</li> <li>・月2回以上の発信が70%以上(年間17回以上)</li> </ul>	<p>教務</p> <p>進路</p> <p>総務</p> <p>1年</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等を利用して行事等での生徒の活動を紹介し、学校の魅力を地域に発信する。</li> <li>・学校運営協議会での協議が充実するよう体制を整えた上で企画運営する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校の情報発信はわかりやすい」と答える保護者の割合 80%以上</li> <li>・学校運営協議会の意見を学校運営や学校の課題解決に生かす。</li> </ul>	<p>2、3年</p> <p>管理職</p>
キ	<p>「チーム吉高」として教職員が協働的な教育活動・事務室経営を行うとともに、ワーク・ライフバランスの向上に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善、負担軽減を進めるため、担当に捉われず、複数で協力する。</li> <li>・活発にコミュニケーションを図りながら協働する。</li> <li>・職員が業務の見通しを立てられるよう各種資料を作成する。</li> <li>・ICT環境の整備</li> <li>・適正な学校経営予算の編成と執行</li> <li>・業務分担を平準化し、チームで確実に業務を遂行する。</li> <li>・定時退勤に向けた目標を立てて取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員の負担を一部でも軽減できた」と答える教職員の割合 90%以上</li> <li>・情報交換等（分掌会議、担任会等）を定期・不定期的に全分掌・学年が行う。</li> <li>・「計画的に業務を行った」と答える教職員の割合 80%以上</li> <li>・「ICTを活用した業務改善を行った」と答える教職員の割合 90%以上</li> <li>・検査・監査での文書指摘事項0（ゼロ）</li> <li>・前年度と比較して時間外勤務総時間数減</li> <li>・各自が週1日定時退勤曜日を定め、「概ね週1日は定時退勤できた」と答える教職員の割合 90%以上</li> </ul>	<p>全分掌・全学年</p> <p>教務</p> <p>事務</p> <p>管理職</p>

（記入上の留意点）

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること